

令和3年度 第1回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和3年4月9日（金）15時～15時50分

協議事項

- （1）令和3年度 薬学部の運営について
- （2）留年及び再履修学生に対する対応について

令和3年度 第2回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和3年4月15日（木）15時00分～15時50分

協議事項

- （1）薬学部自己点検・評価委員会（仮）について
- （2）薬学部教育改善実施委員会規程の変更について
- （3）留年及び再履修学生に対する対応について
- （4）在学年限について（履修登録等の記載内容について）

令和3年度 第3回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和3年5月10日（月）15時00分～16時00分

協議事項

- （1）薬学部自己点検・評価委員会について
- （2）薬学部教育改善実施委員会規程の変更について
- （3）在学年限について
- （4）その他

山本委員長から、留年生への対応の状況を把握しやすくするためのスプレッドシート「2021年度前期_面談チェック表」について報告があった。

令和3年度 第4回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和3年5月31日（月）15時00分～16時35分

協議事項

- （1）ディプロマポリシーについて
- （2）カリキュラムポリシーについて
- （3）その他

山本委員長から、4年次のスケジュールに余裕がないことを解消するために、カリキュラムを見直したい旨提案があった。これまでの経緯を踏まえ、実習の日程、全学共通科目の選択肢に改善の可能性があるのではないかと議論され、引き続き検討することとした。

令和3年度 第5回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和3年6月14日（月）15時20分～17時00分

協議事項

- (1) ディプロマポリシーについて
- (2) カリキュラムポリシーについて
- (3) カリキュラムについて

令和3年度 第6回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和3年7月12日（月）15時30分～16時45分

協議事項

- (1) 議事録の修正について
- (2) ディプロマポリシーについて
- (3) カリキュラムポリシーについて
- (4) カリキュラムの変更について
- (5) FD活動について

通山委員より別紙により、全学および薬学部における過去のFD研修会とFD活動の経緯について説明を受けた。それを踏まえ山本（直）委員長から、令和3年度の薬学部のFD活動について、方針を協議する提案があった。協議の結果、9月に1回目のFD活動を開催することが承認された。議題については、前項の通りカリキュラムの変更についての議論と、実習での成績評価法についての議論が提案され、前者を優先することとなった。

- (6) その他

薬学部教育改善実施委員会の活動内容を薬学部自己点検・評価委員会からチェックを受ける流れについて、薬学部教育改善実施委員会から教授会へ上がった内容について、薬学部自己点検・評価委員会からチェックを受けることとなった。

令和3年度 第7回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和3年8月2日（月）15時00分～15時50分

協議事項

- (1) FD活動について

山本（直）委員長より、9月4日に行われる予定の薬学部FD活動について、
① 進行について、②ファシリテーター（発表）・書記について、など具体的な検討を行いたい旨説明があった。今回のFD活動の目標は「カリキュラム変更へ向けての問題点の共有」と置くこととなった。まず、カリキュラムの変更の可能性や条件について、各領域での状況や意見を代表から説明してもらい、その後にグループディスカッション（3班程度に分ける）、各グループの成果発表、と進める。グループごとの書記・発表者は准教授・講師・助教の教員に担当してもらおう。FD活動の成果は薬学部の全教員へフィードバックし、必要に応じて領域ごと、科目の設置学年ごとで引き続き検討を行ってもらおう、と決まった。

(2) カリキュラムの変更について

上項のFD活動の成果をもとに、その後も何回かカリキュラムの改善へ向けたFD活動を行うこととなった。カリキュラム変更の時期をいつの年度にするかについて、FD活動と教授会を通して薬学部内の合意を作っていくこととした。他大学のカリキュラムの状況も情報として参考にすることとした。

(3) その他

長久保委員より、薬学部自己点検・評価委員会から本委員会への要請について説明があった。カリキュラム・ポリシーの見直しに伴い、その内容全体に合致したカリキュラムの改善を行うことが要請された。また、新たなカリキュラム編成に際しては、薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂を念頭に、現行のカリキュラムマップを有効に活用し、カリキュラムの調整に薬学部の全教員が深く関わる形となるよう、改訂までの過程を精査しながら取り組むことが要請された。

山本(直)委員長より、留年生へのフォローとして、面談などを重ねて行うよう担任の教員へ要請したい旨説明があった。

令和3年度 第8回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和3年9月13日(月) 15時00分～15時40分
協議事項

(1) FD活動について

1. 再延期について
2. ファシリテーター(発表)・書記への再連絡について

(2) カリキュラムの変更について

(3) その他

通山委員より、学外実習科目についての学生アンケートを新しく実施したい旨、教務課から全学FD委員向けへ検討の依頼があったとの説明があった。薬学部の実習科目の状況に合うよう、アンケートの文面や質問項目を考えることとなった。

令和3年度 第9回薬学部教育改善実施委員会

協議事項

(1) 前期および後期FD活動について

(2) カリキュラムの変更について

(3) その他

通山委員より、全学FD委員会から依頼されていた説明学外実習科目についての学生アンケートの作成について、資料にもとづき説明があった。説明資料にあった質問の文面の例では薬学部の実習に合わない点があるため、実務実習の関係の先生がたで薬学部の実習にあった質問の文面を検討してもらうこととなった。

令和3年度 第10回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和3年11月26日（金）17時00分～17時50分

協議事項

- (1) 現行カリキュラムツリー（案）について
- (2) 後期FD活動について
- (3) その他

通山教授の提議からリメディアル教育について意見が交換され、1年次前期向け科目「基礎生物学」「基礎数理」「基礎化学」の担当教員にリメディアル教育用の資料と問題の作成を依頼することとなった。

令和3年度 第11回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和3年12月13日（月）16時30分～17時45分

協議事項

- (1) カリキュラムツリー（案）について
- (2) 後期FD活動について

前期FD活動に続きカリキュラムの改善と新カリキュラム（新カリ）への対応を議題として予定している後期FD活動について、3月4日（金）の教員会議後に行いたい旨、山本（直）委員長から提案があり、次回の教員会議へ諮られることとなった。

- (3) 学外実習アンケートについて
- (4) その他

長久保教授から別紙資料により、薬学教育評価へ備えた「講義資料・試験問題等の回収」について、本年度前期の実施状況について説明があった。

令和3年度 第12回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和4年1月25日（火）17時00分～18時15分

協議事項

- (1) カリキュラムツリー（新カリ）（案）について
- (2) 後期FD活動について
- (3) アドミッション・ポリシーに関する見直しについて
- (4) 退学学生への対応について
- (5) その他

長久保教授から、2021年度後期の授業資料の回収にあたってレポートを対象に含めるかどうかの相談があり、保管スペースに問題がなさそうであることから、含めると同意された。

通山教授から、全学FD活動の準備状況について報告があった。

令和3年度 第13回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和4年2月7日(月) 15時00分～16時00分

協議事項

- (1) カリキュラムツリー(新カリ)(案)について
- (2) アドミッション・ポリシーの見直しについて
- (3) シラバス作成について
- (4) その他

通山委員から、GPAの利用について問題提起があり意見交換を行った。

令和3年度 第14回薬学部教育改善実施委員会

日時 令和4年3月7日(月) 15時00分～16時20分

協議事項

- (1) カリキュラムツリー(新カリ)(案)について
- (2) 姫路獨協大学における教学マネジメントに関する方針(案)について
- (3) その他

山中委員から、履修登録単位数の上限の適切な設定について検討の要請があり、カリキュラム編成の見直しに合わせて、各期の上限単位数を見直す方針を教員会議へ提案することとした。

山中委員から、仮進級する学生への指導について検討の要請があり、担任教員による面談を留年生と同様に行うことについて、次のように教員会議へ提案することとした。4月までに面談を行い、所定の様式の面談記録をファイリングして残す。

通山委員から、4年生と6年生の留年生への学修指導について検討の要請があり、面談を担当する教員を増やす、学修用のClassroomを新設するなど、学修指導の体制を厚くすることを教員会議へ提案することとした。

山本(直)委員長から、令和3年度第13回薬学部教育改善実施委員会議事録の確認が行われ、承認された。